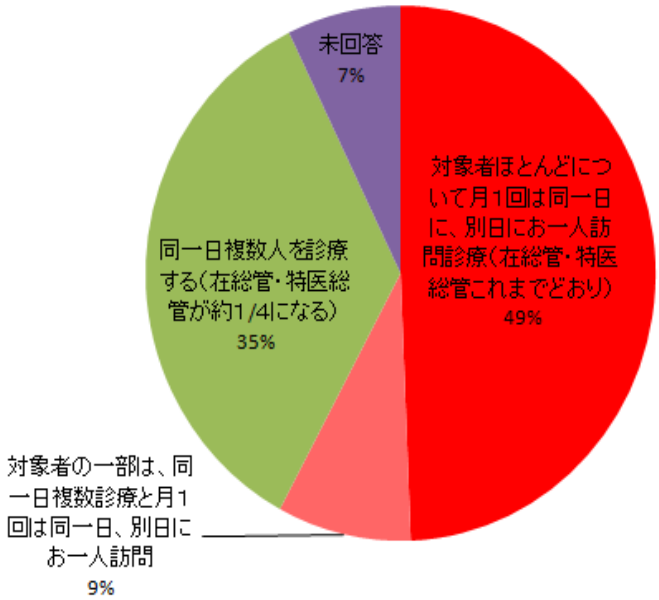
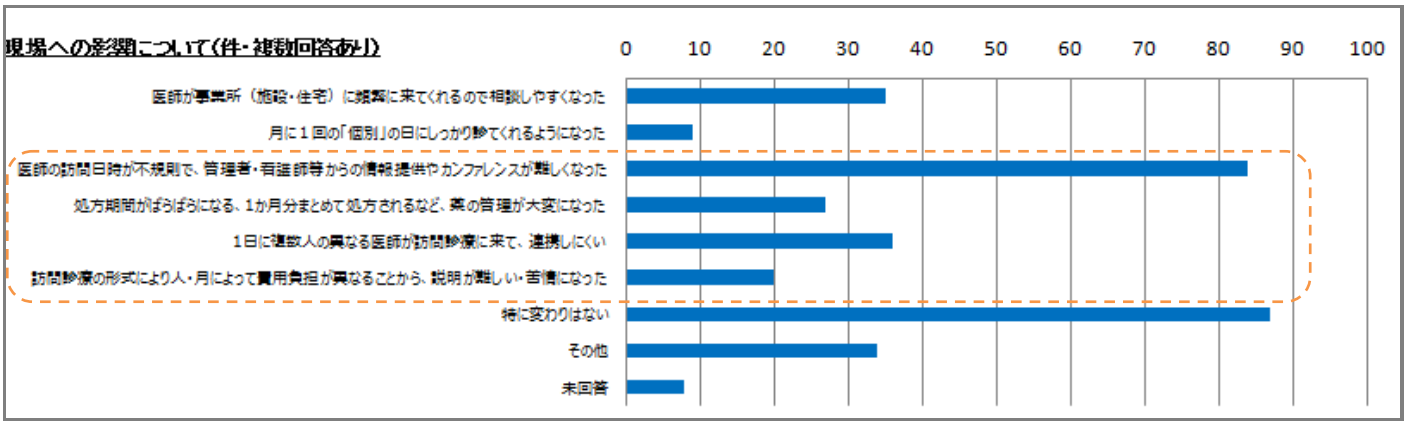
診療報酬実態調査（サービス付き高齢者向け住宅）

平成 26 年 6 月

集合住宅への大幅な診療報酬改定が行われ２カ月が経ちました。サ住協会員へ実態を把握するためにアンケートを行いましたのでその結果をご報告します。

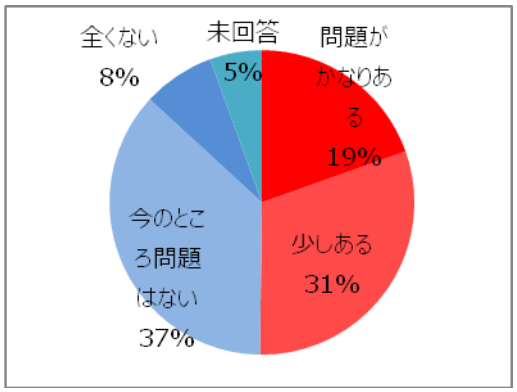
「訪問診療を行う医療機関はどの方式をとっていますか？」に対し全体の半数以上が、同一日１回、別日におひとり訪問診療をおこなわれています。





これまでと同様の診療報酬を確保するためにサ付き住宅の現場での無駄・負担があることがわかりました。

診療の仕の変更などで、現場や入居者さんに不利益や問題が出ていますか？に対し半数が問題あると答えています。



問題がかなりある	少しある	今のところ問題ない	全くない	未回答
46	72	86	18	13
20%	31%	37%	8%	6%

以上の結果からも今回の報酬改定を早く是正すべきと考えます。この件に関するお問い合わせは、事務局までご連絡くださいませ。

回答数２３５件　サ住協調べ

訪問診療、往診体制の変更により入居者・家族から要望・苦情などその他意見

8月のオープンだが、報酬改定で往診可能と聞いていた医療機関から撤退の申し出あり。入居希望者、次の医療機関とのやり取りなど、過度の負担と一抹の不安を感じる。
居宅療養管理指導料を取ることになり、入居者の金銭的負担が増えている。同行してくる看護師の態度が横柄になっているように思える。３月まではもっと優しく対応してくれていたように思える。
朝に往診にくるためばたつく。今回の改定で同一日に診療を行える人数に制限が加わったことで事業者、医療機関、入居者の診療体制に不都合が生じている。適正な診療体制構築に影響がでている。
月４回から2回の診察へ。1回目と2回目の診察日が近い方がいて今のところ問題はないが、入居者の診療体制に不都合が生じている。
全てにおいて病院都合の日程になっている。家族より往診日がバラバラで予定を合わせられないので以前のように曜日を固定して欲しいとの声あり。
入居者1名に関わる医師の数が増え、出来る限り固定の先生に来てほしいと要望がある。
医師が度々変わる。顔もみたことがない。高齢の医師が多くなり質が低下したような感じがする。
重度の方への対応が手薄になり、住まいの継続に不安があると入居者から言われる。
２４時間対応約束なのに緊急対応時に電話がつながらない、電話がつながり相談しても殆ど医師が来ることがなくなった。また「電話連絡もするなと医師より言われた。」と言う方もいる。 往診医に入院や施設入居の方が良い等、住まいの変更を何度も言われ不安になった方もいる。医師の都合なのか訪問診療の日時も教えて頂けない診療所もある。
通院が難しく訪問診療を利用しているのに、通院をすすめられることが多くなった。不定期な往診で入居者往診日を理解できず不安の訴えが出ている。
看護師が先にバイタルを測定し医師はほとんど話もせずに診療を終え帰ってしまうと口にする入居者が増えている
医師が入居者に対して高圧的な態度になり不安だという声も聞かれる。生活主体ではなく医療に支配されていると感じておられる方もいる。
訪問看護の利用を必要以上にすすめられる。すぐに医師より入院をすすめられるようになった。
往診に毎回立ち合いたいが、往診に午前・午後に来るのかも教えられず、1日いなければいけないので困る。
医療依存度の高い方の新機入居受入れが、今後難しくなっている。
医療行為の必要な方は、医療機関が対応していたが、撤退によりできなくなり、その入居者は、他の医療機関は難しいということで訪問看護を利用。（胃瘻）費用負担が多くなり、サ高住での生活の継続が長い目で考えたときにできない、ここ住み続けたかったが致し方ない。納得は行かないと苦情あり。
緊急時今までは、看護師が指示していたことが、Drが訪問し、往診料が発生。3割負担の家族より苦情。医療機関からの返答が「国が決めた制度だからそんなことを言われても知らない」という姿勢で、今までは、往診せず看護師に指示していたことが往診するようになり、それに対して往診料が発生する等の説明がない。
往診医が決まった人が来ず、毎回前回までの経緯を説明し相談がしにくい。
24時間対応可能クリニック連携に安心し入居したが閉院。現住宅での生活に不安。後継の病院は、気に入らず苦情がある。
医療機関の変更があり、本人・家族も今までのDrとの比較し、医療機関（Dr）が決まらないケースがある。
医療機関の変更により、強化型訪問診療機関は、薬局も変更になるため、断られて別の医療機関を提案した。
夜間や早朝の緊急連絡が以前に比べると対応が冷たく感じられることが増えた。緊急時の訪問頻度が減少。
入居者より往診時の診察時間が短くなって、事務的に行われているような気がするとの苦情があった。「自分で病院に行けないので往診を頼むしかない。もっとしっかり診てほしいが、来てもらっているのに強く言えない。」という話をされる方もいる。
診療報酬の改定により、少しでも報酬を確保したいという医療機関の考えか、往診時に主治医から訪問看護ステーションとの契約について営業的な発言があった。
主治医・医療機関を入居者が自己選択できくなっており、不安を抱いている方が増えている。
往診に毎回立ち合いたいが、往診時間（午前か午後も）教えてもらえず、予定が立たず困る。
医師と連絡が取りずらくなり、個別訪問日の変更が多い。
日に1人の往診で日程調整が困難に見える。度々、入居、家族から日程、時間に約束通りでないと苦情。
医師が決まっておらず誰に相談したらよいか不明、相談しても対応が雑。往診日がわからず予定が立てられない。
医療機関からの説明不十分、ケアマネに問い合わせするがはっきりとせず、医師が頻回に来てしまう。
往診日が不定期、予定の時間に来ない。（本人、家族が待ちぼうけ）
診療時間が短くなった以外、ほとんど変わりなく月２回訪問していただいている。特に先生側から今回の改定についての話もない。ただ今後、緊急時の対応を今までのように要請できるのか不安がある。
訪問日が近すぎたり遠すぎたりして不安になっている。
同一建物での往診が日１人、新入居については要相談。訪問時間が変更になると、不安になる方がいる。